

## ◆ 今週のコメント

- 新型コロナウイルス感染症の報告が3,540例あり、本年の累積報告数は74,250例になりました。本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。  
○新型コロナウイルス感染症 最新の動向  
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>
- レジオネラ症(肺炎型)の報告が4例(60歳代男性1例, 70歳代男性2例, 80歳代男性1例)ありました。いずれも感染地域は国内, 感染経路は不明です。本年の累積報告数は8例になりました。
- 梅毒の報告が1例(40歳代男性)(第12週追加報告分)あり, 感染経路は性的接触, 感染地域は国内です。本年の累積報告数は23例になりました。
- 小児科定点把握感染症は, 前週までと大きな変化はなく, 発生数は低く推移しています。

## ◆ 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>

本市では第13週(3月28日～4月3日)に, 新型コロナウイルス感染症の新たな感染者が3,540例報告されました。人口10万人当りの報告数では, 本市においては第5週の813人がピークであり, それ以後は減少していましたが, 今週は第12週の189人から244人へと増加に転じています。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- 二類:結核 2例(肺結核 2例, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 なし)うち喀痰塗抹陽性 1例  
【1月以降の累積報告数 51例(肺結核 24例, その他結核 14例, 潜在性結核感染者 13例)うち喀痰塗抹陽性 7例】
- 新型コロナウイルス感染症 3,540例【1月以降の累積報告数74,250例】
- 四類:レジオネラ症 4例【1月以降の累積報告数 8例】
- 五類:梅毒 1例【1月以降の累積報告数 23例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

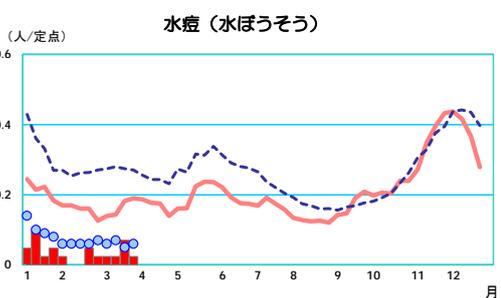
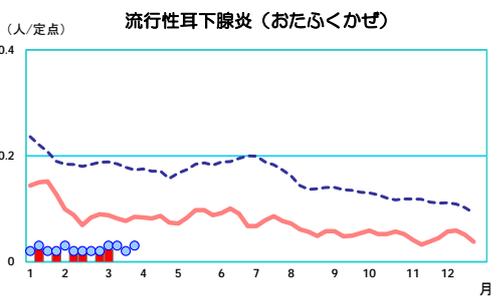
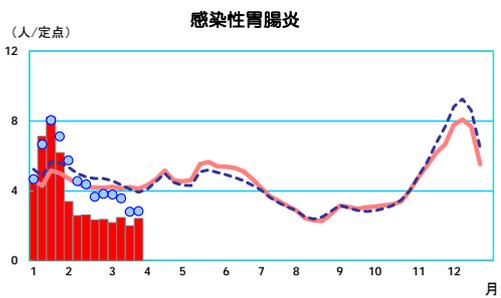
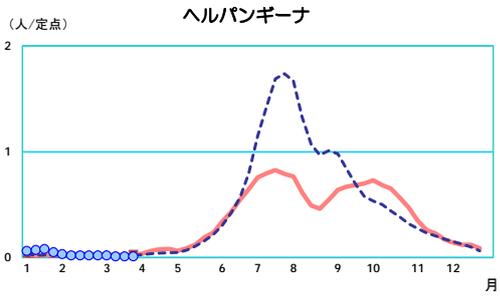
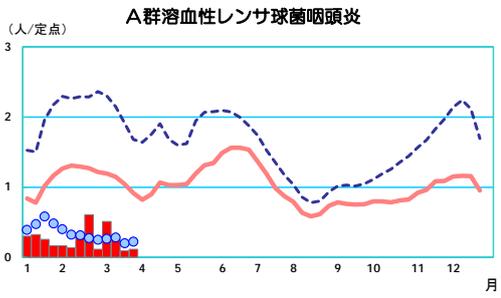
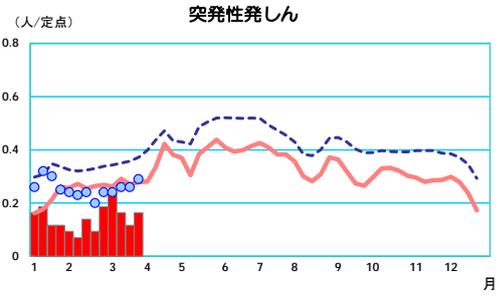
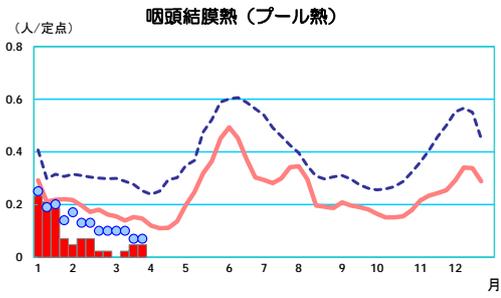
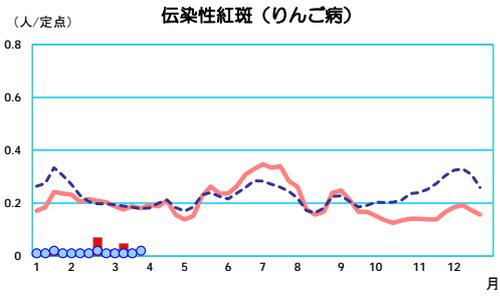
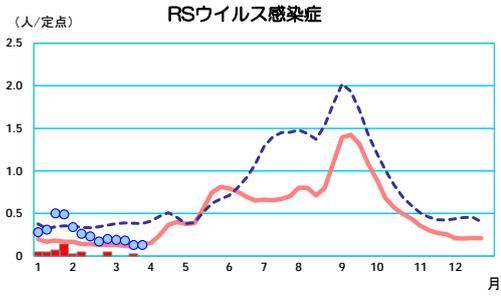
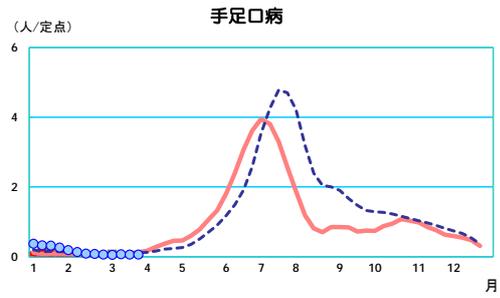
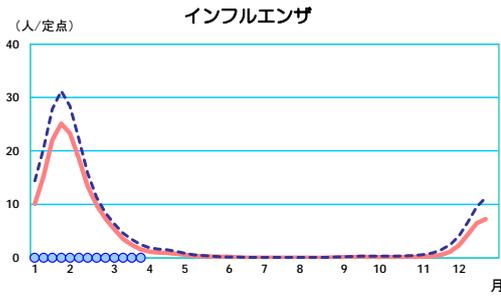
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	2.42	104
	② 突発性発しん	0.16	7
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.12	5
	④ ヘルパンギーナ	0.07	3
	⑤ 咽頭結膜熱	0.05	2
眼科	流行性角結膜炎	0.40	4

## 【次ページ以降の主な内容】

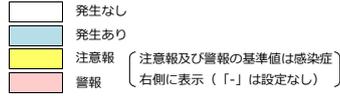
発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>  
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 2022年4月7日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。  
\* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

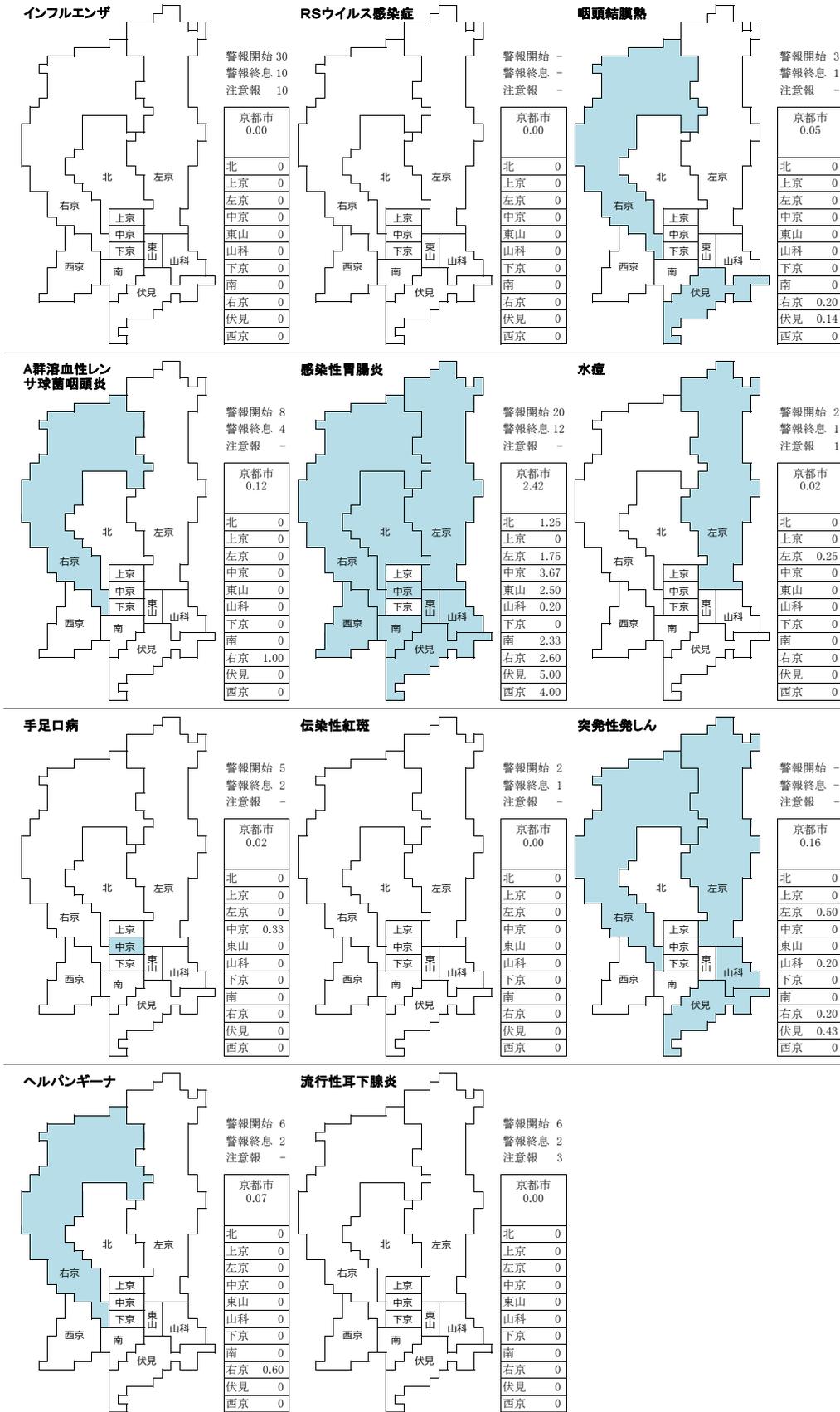
インフルエンザ<sup>※</sup>及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2022年）



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2022年第13週】



定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。  
 したがって、定点当たり報告数は医療機関の立地条件や  
 規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。



## 第13週(3月28日～4月3日) トピックス: <新型コロナウイルス感染症>

本市では第13週(3月28日～4月3日)に、新型コロナウイルス感染症(以下、COVID-19)の新たな感染者が3,540例報告されました。人口10万人当りの報告数では、本市においては第5週の813人がピークであり、それ以後は減少していましたが、今週は第12週の189人から244人へと増加に転じています(図1)。全国の報告数は本市よりやや少ないものの同様に推移しており、第5週(484人)を境に減少していましたが、先週(213人)から今週(258人)にかけて増加しています。

これまで本市では、流行のピークを過ぎると報告数は速やかに減少し、人口10万人当たり10人以下となる傾向がありました(図1)。しかし、2022年に入ってから発生した流行(第6波)では、報告数の減少は緩やかであり、再び増加に転じる恐れがあります。第6波について、これまでに大規模な流行や死亡者数の増加がみられた8自治体を併せて比較すると、沖縄県を除いておおむね第5週前後をピークとする同様の推移が見られ、またこの8自治体全てで第13週から増加が始まっています(図2)。

本市におけるCOVID-19患者の年齢構成の推移を見ると、2021年ではまず30歳代以下(若齢層)の割合が高くなり、その後60歳代以上(高齢層)の割合が増加する傾向がみられます(図3)。2022年第8週以降は継続して若齢層の割合が増加しており、流行が再興(リバウンド)する可能性が高いと思われます。

本市のCOVID-19の報告数と死亡者数の推移を見ると、2021年には第9週や21週など、流行の後に死亡者が増加する傾向がありましたが、第6波でも2週遅れで死亡者のピークがおおむね一致しています(図4)。2021年に始まったワクチン接種と流行株の変遷により、致命率は減少していますが、報告数が格段に増加したため、結果として死亡者数は大きく増加しています。今後、流行がリバウンドし感染者が急増してしまった場合には、死亡者も大きく増加する恐れがあります。

COVID-19の感染予防には、手洗い、消毒、マスクを適切に着用することが重要です。引き続き、三密を避けるとともに、ひとりひとりが予防を心がけましょう。

○厚生労働省では、新型コロナウイルス感染症に関する情報を掲載しています。

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html)

○京都市では、新型コロナウイルス感染症の最新の動向を提供しています。

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>

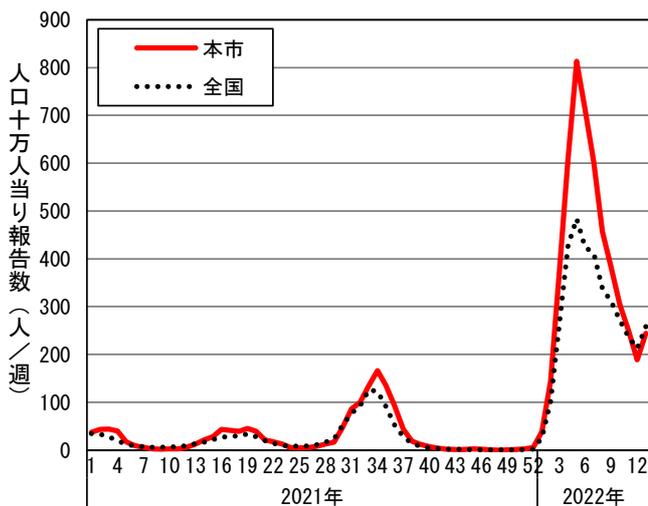


図1. 本市と全国のCOVID-19報告数\*

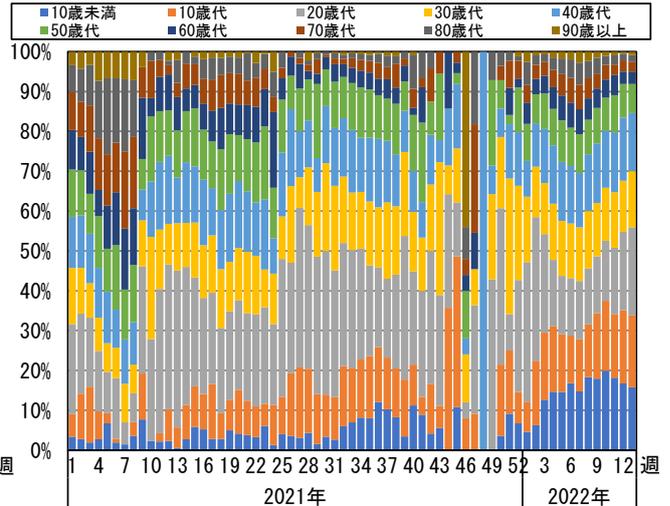


図3. 本市のCOVID-19の年齢階級別割合#

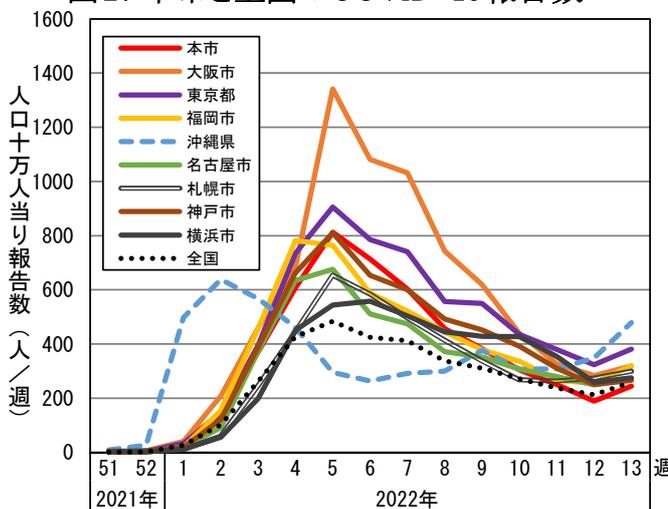


図2. 各自治体のCOVID-19報告数\*

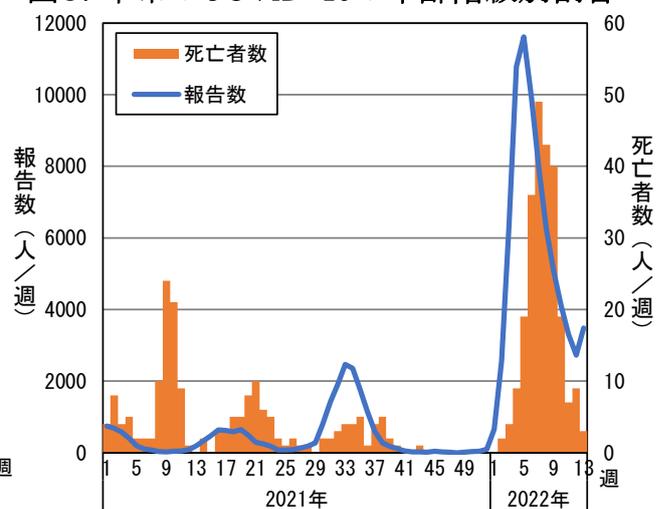


図4. 本市のCOVID-19報告数・死亡者数#

(\*) 以下の各自治体または厚生労働省の広報情報を基に作図(2022年4月6日時点)。  
<https://www.city.osaka.lg.jp/kenko/page/0000502869.html>  
<https://catalog.data.metro.tokyo.lg.jp/dataset/t000010400000000068>  
[https://www.city.fukuoka.lg.jp/hofuku/coronataisaku/health/jirei/cohs\\_.html](https://www.city.fukuoka.lg.jp/hofuku/coronataisaku/health/jirei/cohs_.html)  
[https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/hoken/kansen/soumu/press/20200214\\_covid19\\_pr1.html](https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/hoken/kansen/soumu/press/20200214_covid19_pr1.html)

<https://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000126920.html>  
<https://www.city.sapporo.jp/hokenjo/ikansen/2019n-covhassei.html>  
<https://www.city.kobe.lg.jp/a73576/kenko/health/infection/protection/covid19.html>  
<https://data.city.yokohama.lg.jp/covid19/>  
<https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/open-data.html>

(#) 新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理システム(HER-SYS)の情報を基に作図(2022年4月4日時点)。このため図4は、本市広報資料を基に作図した図1、2と報告数が異なる。

T3201

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2022年第13週

疾病,行政区別報告数

2022年3月28日～2022年4月3日

データ入手日:2022年4月7日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																			
北	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-						
上京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
左京	-	-	-	-	7	1	-	-	2	-	-	-	-						
中京	-	-	-	-	11	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-						
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-						
右京	-	-	1	5	13	-	-	-	1	3	-	-	1						
伏見	-	-	1	-	35	-	-	-	3	-	-	-	3						
西京	-	-	-	-	20	-	-	-	-	-	-	-	-						
京都市計	-	-	2	5	104	1	1	-	7	3	-	-	4	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																			
北	-	-	-	-	1.25	-	-	-	-	-	-	-	-						
上京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
左京	-	-	-	-	1.75	0.25	-	-	0.50	-	-	-	-						
中京	-	-	-	-	3.67	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	2.50	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	-	-	-	-	0.20	-	-	-	0.20	-	-	-	-						
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	-	-	-	-	2.33	-	-	-	-	-	-	-	-						
右京	-	-	0.20	1.00	2.60	-	-	-	0.20	0.60	-	-	1.00						
伏見	-	-	0.14	-	5.00	-	-	-	0.43	-	-	-	1.50						
西京	-	-	-	-	4.00	-	-	-	-	-	-	-	-						
京都市計	-	-	0.05	0.12	2.42	0.02	0.02	-	0.16	0.07	-	-	0.40	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

# 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2022年第13週

年齢階級, 疾病別報告数

2022年3月28日～2022年4月3日

データ入手日:2022年4月7日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		5	-	-	1	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		104	1	1	7	11	15	14	2	13	6	3	5	10	2	14						
水痘		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		7	1	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1					
流行性耳下腺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	1	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.05	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.12	-	-	0.02	-	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		2.42	0.02	0.02	0.16	0.26	0.35	0.33	0.05	0.30	0.14	0.07	0.12	0.23	0.05	0.33						
水痘		0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.16	0.02	0.05	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.07	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	0.02					
流行性耳下腺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.10	-	-	0.10	0.10	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2022年第13週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2022年4月7日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	1	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	-	2	-	-	1	-
咽頭結膜熱	1	1	-	1	2	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	26	5	22	11	4	5
感染性胃腸炎	100	102	94	106	86	104
水痘	2	1	1	1	3	1
手足口病	3	1	8	1	-	1
伝染性紅斑	3	-	1	2	-	-
突発性発しん	4	8	10	7	5	7
ヘルパンギーナ	-	-	1	-	1	3
流行性耳下腺炎	-	1	1	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	1	-	1	-	1	4
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	141	121	139	129	103	127

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	0.01	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	-	0.05	-	-	0.02	-
咽頭結膜熱	0.02	0.02	-	0.02	0.05	0.05
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.60	0.12	0.51	0.26	0.09	0.12
感染性胃腸炎	2.33	2.37	2.19	2.47	2.00	2.42
水痘	0.05	0.02	0.02	0.02	0.07	0.02
手足口病	0.07	0.02	0.19	0.02	-	0.02
伝染性紅斑	0.07	-	0.02	0.05	-	-
突発性発しん	0.09	0.19	0.23	0.16	0.12	0.16
ヘルパンギーナ	-	-	0.02	-	0.02	0.07
流行性耳下腺炎	-	0.02	0.02	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.10	-	0.10	-	0.10	0.40
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	3.35	2.81	3.31	3.00	2.47	3.26

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。